

平成28年度 後期授業改善全体プラン

【各教科の取組と重点目標】

国 語

| 話す・聞く活動の充実 | 書く活動の活性化 | 読む活動の機会の増 |
|---|--|--|
| <p>○1分間スピーチ活動を工夫して伝え合う楽しさを味わう。</p> <p>○語彙をとらえて話し合う「ミニ座談会・討論会」を楽しむ。</p> <p>○発音・音量・速さ等「話し方のめやす」を改善する。</p> <p>○『立吾しぐさ』の「聞き目・聞き耳」「ていねい言葉」の全校的取組</p> <p>○メモの取り方や活用のしかたを学ばせ、メモを見て話したり、発表したりする活動をさらに広げやす。</p> <p>○正しい言葉遣いや美しい日本語を身につけさせるための言語環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の言葉遣いや掲示物の工夫 | <p>○名文や詩・俳句等を視写する活動</p> <p>○「せんせい あのね」日記指導の工夫</p> <p>○ノート指導の取組</p> <p>ばっちりノート ていねい文字 電子黒板を使ったノート指導 定期的な評価</p> <p>○OMY辞書を活用した言葉集め</p> <p>○「鉛筆カード」を用いて整った字を書く練習</p> <p>○「短作文・日記指導」「ひと言感想や意見箱」「お手紙交流」等多様な書く活動を展開する。</p> <p>○「全校漢字テスト」の取組と評価</p> <p>○書いたものを発表し合い交流する場の設定</p> | <p>○コラムや名文を読む。</p> <p>○新聞記事を読んで評論を書く活動</p> <p>○詩や名文の音読群読・暗誦活動に取り組む。</p> <p>○読書活動の充実</p> <p>マイブックの取組 隙間の時間の読書 週1時間の読書タイム 読み聞かせ交流 家庭読書のすすめ 読書発表会</p> <p>○「文章を読み、考える力」を育てる段階的指導を工夫改善する。</p> <p>○学校図書館の計画的活用を促進する。</p> <p>○1つとり1テーマ「調べる学習」の取組（高学年）</p> |
| <p>「課題づくり」を通して自学習、豊かに読みを深める指導の工夫</p> <p>◇文学的文章の読み取りの指導を工夫し、児童が主体的に文章を読む態度を身につけさせていく。</p> <p>◇読解学習を通して、どのような子どもを育てるのか、どのような読解能力や言葉の力が身につくのかを、明確におさえて授業改善を進めていく。</p> <p>◇「知性と感性の調和のとれた読解指導」をめざす</p> <p>知性 説明的文章を通して論理性、社会性等を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知的好奇心を育てる ○意欲的に読む子ども ○考えを広げ、深めようとする子ども ○筋道を立てて、読もうとする子ども <p>感性 文学作品を通して心情生、感受性、倫理性を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読んで楽しみを求める子ども ○想像力の豊かな子ども ○詩的・美的感覚の鋭い子ども | | <p>■学力向上プロジェクトチームによる「立吾ベーシック国語編」づくりを推進する。</p> <p>■音楽科・図工科において多様な言語種を取り入れ、表現活動・鑑賞活動を工夫する。</p> <p>■11月の学芸会の活動を通して自ら表現する力・鑑賞したことを表現する力を高めていく。</p> |

算 数

考え方・「応用」を育てる

- 作業的・体験的な活動や具体的操作活動などの「算数的活動」からきまりや法則を見だし、自分なりに表現（解答）していく学習活動を行う。
- 「問題づくり」等を行い、子ども同士で解き合ったり、相互評価したりする種を取り入れる。
- 問題冊屋 自力解決場面において「問題文→テープ図・数直線→立式」の過程を丁寧に行い児童自ら考えるための力を身につけさせる。
- 文章題に多くふれさせ、その読み取り、数式や数直線、図や絵に表すなどの具体的スキルを身につけさせる指導を工夫する。
- 学力調査の形式に慣れるための模擬テストを行う。

知識・技能「基礎」の定着

- 日常的に図形に関する用語を正確に用いて、知識の定着を図る。
- 「全校算数テストとその取組」を9月・1月に実施し、合格（9割の習得）まで全員に繰り返し取り組ませていく。
- 授業では定着問題を一時間の最後に行い、練習する時間を設ける。
- 児童の実態に応じて算数少人数指導、ステップアップ教室、放課後すみだ塾を効果的に活用する。
- 「算数ミニテスト」による繰り返しと定着
- 「かけ算九九暗誦」等の取組
- 家庭学習における計算反復練習の定着
- 「立吾算数ばっちりノート」を統一し、家庭学習で見直したり、次時の冒頭で見直す機会を必ず設ける。
- 「類似・適用問題」による定着と習熟を図る。

校内研究 主体的に考える力を育む算数指導の工夫（2年間）

- ◇問題解決型の授業を通して、主体的に学ぶ態度と数学的な思考力・表現力を高める。
- ◇算数指導の基本を学び合う。
- ◇学年毎(含専科)による研究授業の実施。
- ◇指導講師 都留文科大学講師・元國學院大學教授 滝井章先生

少人数指導・個別指導の工夫 算数少人数指導・ステップアップ教室個別指導・放課後すみだ塾を効果的に活用して、個に応じて「考え方」「知識・技能」を伸ばしていく。

- ◇中学年への個別支援の充実・・・算数担当にすべて任せず、担任が責任を持ってクラス児童の実態を把握し、個に応じた支援計画を立て、指導担当者と綿密に連携をとって実施する。
- ◇数直線やノート指導の徹底
- ◇放課後すみだ塾との連携
- ◇電子黒板等を活用して「解法や考え方の練り合い」の場づくり
- ◇1～3人程度の個別指導効果の検証
- ◇言葉や数、式、図、表、グラフを活用して自分の考えをわかりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする活動を十分に行う。

その他専務

- ①後期授業改善プラン作成
- ②東京ベーシックドリルの活用と効果測定
- ③吾妻立花中との算数授業研究
- ④特色ある教育活動推進校【算数】
- ⑤研究・実践の成果をまとめ報告する

社 会

関心態度・考え方・「応用」を育てる

- 資料を読み取り、社会的事象の意味を考える指導を徹底する。
 - ・地図・写真資料や文書資料の基本的な読み取り方を身に付けさせる
 - ・資料と資料を結びつけて社会的事象をゆりかごにする力をつける。
 - ・必要な知識や用語を使って社会的事象を説明できるようにする。
- 新聞記事を活用して情報収集・整理し、加工のしかたを身に付けさせていく。
- 日常の新聞やニュースから社会的事象を取り上げ、社会科学習への興味関心を高める。
- 観察・調査・取材活動を重視する。

知識理解・技能 「基礎」の定着

- 資料読み取りのやりかたをモデル提示して、資料読み取りのスキルを高める。
- 単元のまとめに新聞づくりを取り入れる等必要な知識や技能を繰り返し活用する場をつくり、知識の確実の定着を図る。
- 学習ノート「歴史の木」等を工夫し、自分なりに学習内容をわかりやすくまとめ、知識理解の定着を図る。
- 様々な資料にふれ、適切に活用することができるよう資料の読み取り方、選び方を身に付けさせていく。
- 「47都道府県」等必要な知識を楽しく覚える活動を工夫する。

活用・応用の力を育てる授業をめざす

- ①1つのテーマを課題調べ、まとめ、発表する等の学習のしかたを身に付けさせていく。その際、単元を通じた大きなテーマを時間をかけて追究したり、1時間の中で課題探究するなど「調べて発表する意見交流する」学習経験を豊富にする。
- ②写真・統計資料・地図の見方や活用の方法について丁寧に指導する。

理 科

関心態度・考え方・「応用」を育てる

- 見通しをもって観察・実験を行う指導
- 「ピオトーブ」「水筒館」「裁音」を通して自然や植物・動物に親しむ活動をする。
- 問題解決の能力を育てる指導の工夫
- 専門家を招いた科学授業を活用して、科学への興味を培う。

知識理解・技能 「基礎」の定着

- 既習事項を繰り返し活用して必要な知識や技能の定着を図る。
- 具体的な観察実験等構造的活動を通して「実感を伴った理解」を得られるように工夫した指導を行う。
- 観察記録や実験データの取り方と分析のしかたをモデル提示する。

「観察・実験」を中心とした主体的な問題解決型学習

- ①観察・実験の過程や結果を表やグラフに整理し、予想や反説と比較して考察し、それらを文章化するなどして表現する活動を行う。
- ②「予想する」「方法を考える」「結果から法則をつかむ」等問題解決に必要な能力をていねいに指導していく。